



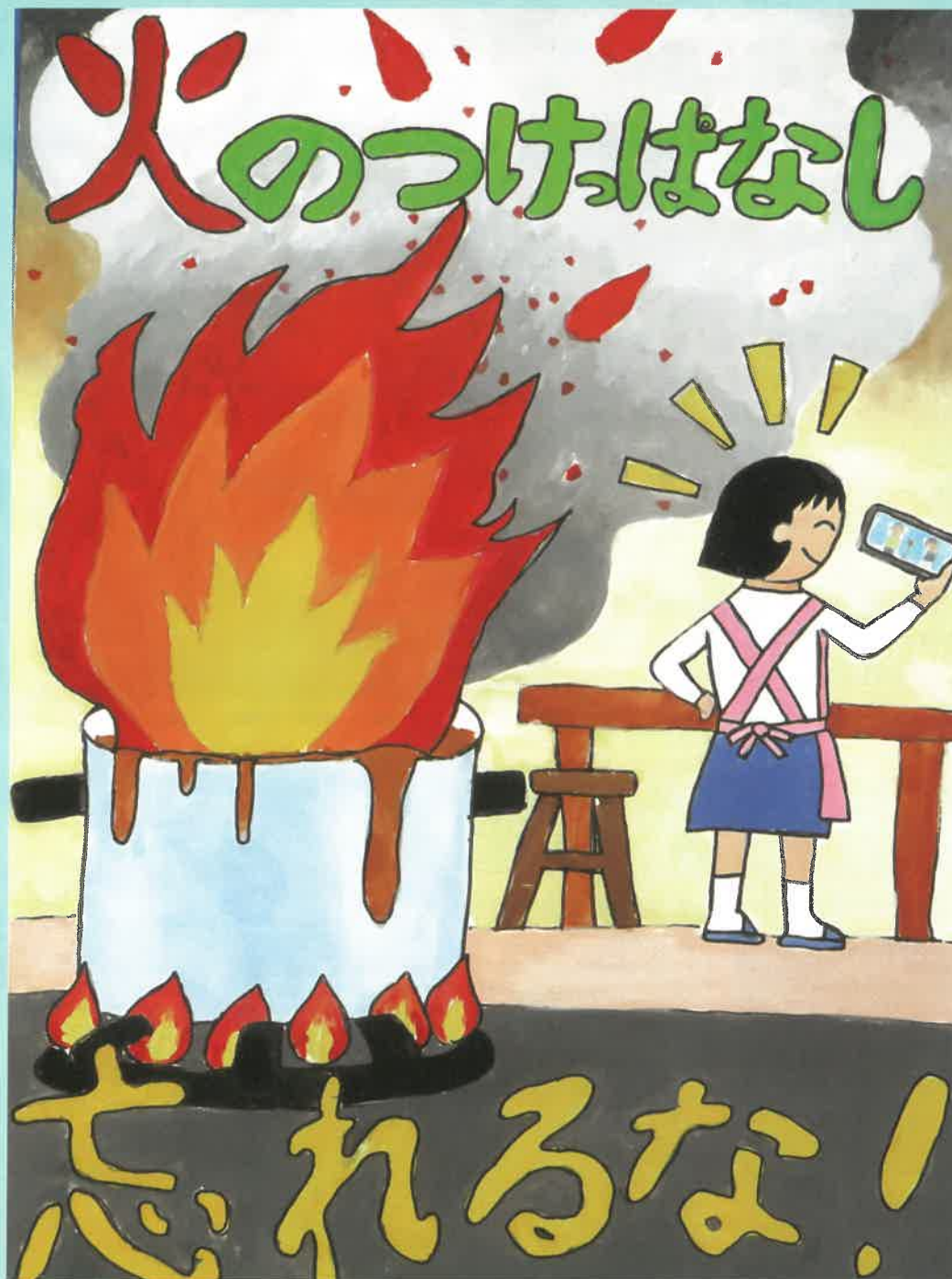
組合消防マスコットマーク
“りゅうじんくん”

広域消防 おおず

2025. 12

第126号

構成市町
大洲市・内子町



令和7年度
防火ポスター
最優秀賞作品

大洲地区広域消防事務組合
Instagram公式アカウント

fd.ozu.ehime



@FD.OZU.EHIME

大洲地区広域消防事務組合ホームページから、申請・届出の様式をダウンロードできます。

<https://ozu119.jp/>

シリーズ わが町の消防団！ No.68

これからの災害に備えて

小田方面隊小田分団 副分団長 越智 治徳

近年、各地で猛暑による熱中症、線状降水帯、台風、竜巻といった様々な自然災害に見舞われています。近いうちに発生が懸念されている南海トラフ巨大地震、皆さん、パニック状態になると思いますが、その中で消防団として対処できるようにしていかなければなりません。

日々の防火予防、防災訓練を実施し、内子町、消防団、各自治会等と連絡を密にして災害に備えていきたいと思ひます。また、令和7年12月7日（日）には、内子町防災訓練が城の台公園で実施されます。消防団員はもとより、地域の皆さんの多くの参加をお願いし、防災意識の向上になればと思ひます。

最後に、小田分団第2部消防車両の更新、第3部消防車庫新築工事など、設備面も充実してまいります。消防団員の減少等課題は様々ありますが、地域の防火災害の予防に努めてまいります。備えあれば憂いなし！



救急救命士の紹介

研修を終え、新たに救急救命士となりました2名の職員を紹介します。



大洲消防署本署 消防士 山下 貫太

本人の一言

現場での経験を積み、市民の方々のお役に立てるよう、日々精進していきたいと思ひます。



大洲消防署本署 消防士 池田 翔星

本人の一言

学んだ知識や技術を活かし、地域救急医療に貢献できるよう、職務に取り組んでまいります。



令和7年度 新規採用職員紹介

令和7年度の新規採用職員を紹介します。

新規採用職員の4人は、松山市にある愛媛県消防学校で、県内14消防本部の新規採用職員と一緒に4月から9月までの半年間、火災、救急、救助等の現場で

の活動を想定した様々な訓練はもちろん、消防職員に必要な各種法令についても勉強を行いました。当研修を終え、10月から大洲消防署と内子消防署の各署所に配属されておりますので、よろしくお願いします。



消防士
富永 亮政



消防士
山形 瑠音



消防士
亀井 碧天



消防士
石田 弥月

防火ポスター作品

大洲市と内子町内の小学生を対象に、火災予防に対する関心を深めてもらうことを目的として防火ポスターを募集したところ、17校から119点の応募がありました。有識者による審査の結果、最優秀賞1点、優秀賞5点、佳作20点が決定しました。最優秀賞と優秀賞の作品はここに提示したとおりです。

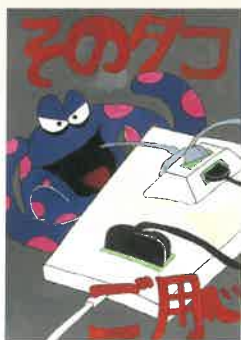
なお、佳作以上の作品は、当組合のホームページや公式インスタグラムにも掲載していますので、ご覧ください。

最優秀賞



大瀬小学校4年
市毛 日和

優秀賞



喜多小学校4年
郷田 彩奈

優秀賞



喜多小学校6年
岡村 幸音

優秀賞



喜多小学校6年
上杉 陽向

優秀賞



久米小学校4年
金子 夏輝

優秀賞



石畳小学校2年
山田 遥太

人事行政の運営等の状況

大洲地区広域消防事務組合人事行政の運営等の状況の公表に関する条例（平成17年条例第15号）に基づき、令和6年度の人事行政の運営等の状況を公表します。

1 職員の任免及び職員数に関する状況

(1) 職員の採用状況（R6.4.2～R7.4.1）

R7.4.1現在 現有数	消防吏員	再任用	会計年度 任用職員
110(4)	5	1(3)	(1)

※（ ）内は、再任用短時間勤務職員及びパートタイム会計年度任用職員について外書き

(2) 職員の退職状況（R6.4.2～R7.4.1）(人)

定年退職	勸奨退職	その他	計
1		1(5)	2(5)

※（ ）内は、再任用短時間勤務職員及びパートタイム会計年度任用職員について外書き

(3) 年齢別職員構成の状況（R7.4.1）(人)

区分	18～20歳	21～25歳	26～30歳	31～35歳	36～40歳	計
職員数	8	23	21	9	8	
区分	41～45歳	46～50歳	51～55歳	56～59歳	60歳以上	
職員数	6	18	8	8	1(3)	110(3)

※（ ）内は、再任用短時間勤務職員について外書き、会計年度任用職員については除く

(4) 階級別勤続年数の状況（R7.4.1）(人)

階級	5年未満	5～14年	15～24年	25～34年	35年以上	計
消防監					1	1
消防司令長				1	5	6
消防司令				11	3	14
消防司令補			15	7	1(2)	23(2)
消防士長		14	2	1	1(1)	18(1)
消防副士長		8				8
消防士	29	11				40
計	29	33	17	20	11(3)	110(3)

※（ ）内は、再任用短時間勤務職員について外書き、会計年度任用職員については除く

2 職員の人事評価の状況

組合職員（規程で定める職員を除く。）を対象に、令和6年4月1日から令和7年3月31日までの期間の勤務状況について、人事評価を行いました。人事評価は、評定を受ける職員の上位の職位となる職員で規程で定める者を評価者とし、消防長を最終評価者として、職員の業績、能力等の評価を行いました。

3 職員の給与の状況

(1) 人件費の状況（普通会計決算）

区分	歳出額 A (千円)	実質収支 (千円)	人件費 B (千円)	人件費率 B/A	令和5年度 の人件費率
令和6年度	1,012,797	28,680	820,188	81.0%	72.6%

※ 人件費には、特別職及び会計年度任用職員に支給される報酬等を除く

(2) 職員の平均給料月額、平均給与月額及び平均年齢の状況(R7.4.1)

区分	平均給料月額	平均給与月額	平均年齢
組合	279,628 円	369,439 円	35.5 歳
国	332,237 円	414,480 円	41.9 歳

※ 組合の額及び年齢については再任用短時間勤務職員及び会計年度任用職員を除く

(3) 職員の初任給の状況（R7.4.1）

区分	組合	国
大学卒	213,600 円	220,000 円
高校卒	188,000 円	188,000 円

(4) 級別職員数の状況（R7.4.1）

区分	標準的な職務内容	職員数(人)	構成比
1級	主事	48	43.6%
2級	主事	11	10.0%
3級	係長、主査	19	17.3%
4級	専門員	11(3)	10.0% (100.0%)
5級	課長補佐、副主幹	11	10.0%
6級	次長、署長、課長、副署長、主幹	9	8.2%
7級	消防長	1	0.9%
合 計		110(3)	100.0%

※（ ）内は、再任用短時間勤務職員について外書き、会計年度任用職員については除く

(5) 職員手当の状況

区分	内 容	国の制度との異同	国の制度と異なる内容
扶養手当	配偶者3,000円、扶養親族 6,500円（子の場合11,500円）、配偶者のない職員の扶養親族1人目6,500円（子の場合11,500円）。一定の年齢の扶養親族1人につき5,000円を加算。	同	—
住居手当	16,000円を超える家賃を支払っている借家居住者 支給上限額28,000円	同	—
通勤手当	通勤距離片道2km以上 交通機関利用…普通運賃相当額 交通用具利用 2km以上 …… 2,000 円 5km以上 …… 4,200 円 10km以上 …… 7,100 円 15km以上 …… 10,000 円 20km以上 …… 12,900 円 25km以上 …… 15,800 円 ～ 31,600 円	同	—
期末手当 勤勉手当	支給割合（6年度） 期末手当 2.5(1.4)月分 勤勉手当 2.1(1.0)月分 役職加算 5～15% 1人当たりの平均支給額（6年度） 1,291千円	異	役職加算 5～20% 管理職加算 10～25%
※（ ）内は、再任用職員に係る支給割合			

4 職員の勤務時間その他の勤務条件の状況

(1) 勤務時間の状況

勤務種別	1日の勤務	休憩時間	週休日
毎日勤務	8時30分～ 17時15分	60分	土・日曜日
隔日勤務	8時30分～ 翌日の8時30分	60分2回	4週を通じて8日

(2) 主な特別休暇など

種 類		休暇の概要、取得の要件など
有給休暇	年次有給休暇	1年につき20日（前年の繰越日数の上限20日のため、最高40日）
	病気休暇	負傷または疾病のため、医師の診断により治療する必要がある場合
	特別休暇	主な休暇 公民権の行使、産前休暇、産後休暇、忌引、結婚休暇、夏季休暇、短期介護休暇など
無給休暇	介護休暇	負傷、疾病または老齢により、2週間以上にわたり日常生活を営むのに支障がある者の介護をする場合

5 職員の分限及び懲戒処分状況

(1) 分限処分者数

処 分 事 由		処分の種類			
		降任	免職	休職	降給
勤務実績が良くない場合	地公法第28条第1項第1号				
心身の故障の場合	地公法第28条第1項第2号第2項第1号			1	
必要な適格性を欠く場合	地公法第28条第1項第3号				
職制・定数の改廃、予算の減少により廃職・過員を生じた場合	地公法第28条第1項第4号				
刑事事件に関し起訴された場合	地公法第28条第2項第2号				

(2) 懲戒処分者数

処 分 事 由		処分の種類			
		戒告	減給	停職	免職
法令に違反した場合	地公法第29条第1項第1号				
職務上の義務に違反し、または職務を怠った場合	地公法第29条第1項第2号				
全体の奉仕者たるにふさわしくない非行のあった場合	地公法第29条第1項第3号				

6 職員のサービスの状況

(1) 服務規律の遵守に関する取組みの状況

通達の発出や各種研修を実施し、職員の服務規律の遵守に務めている。

(2) 休暇の取得状況

区 分	職員数 (人)	特別 休暇 (日)	病気 休暇 (日)	年次有 給休暇 (日)	年次有給休暇の 平均取得日数 (日)
毎日勤務者	19	61	21	173	9.1
隔日勤務者	87	280	55	871	10.0
合 計	106	341	76	1044	9.8

※ 再任用短時間職員及び会計年度任用職員については除く

7 職員の休業に関する状況

(1) 育児休業、部分休業及び育児短時間勤務の取得者数 (人)

育児休業	部分休業	育児短時間勤務
4	0	0

(2) 自己啓発等休業、修学部分休業及び高齢者部分休業の取得者数 (人)

自己啓発等休業	修学部分休業	高齢者部分休業
0	0	0

※ 取得者数は、令和6年度に新たに取得した者のほか、前年度から引き続き取得している者も含む

8 職員の研修及び勤務成績の評定の状況

研修の実施状況

区 分	研 修 内 容	研修期間 (日)	受講者 (人)
消防大学校	総合教育（警防科）	50	1
消防学校	初任教育	116	4
	専科教育（救急科）	36	3
	専科教育（救助科）	23	1
	専科教育（警防科）	9	1
	専科教育（予防査察科）	10	1
	実火災体験型訓練施設研修	1	4
救急救命研修	救急救命士養成課程	126	1
	指導救命士養成課程	30	1
	救急救命士気管挿管病院実習	30症例	2
	救急救命士ビデオ喉頭鏡病院実習	2症例	2
愛媛県研修所	市町課長級研修	2	1
	コーチング講座	2	1
	レジリエンス向上講座	2	1
自主研修	ハラスメント等防止研修	—	88
	接遇研修	—	36
	惨事ストレス研修	—	65
	人権同和教育研修	—	98

9 職員の福祉及び利益の保護の状況

(1) 健康診断等の受診状況 (人)

一般定期健康診断受診者	141
人間ドック受診者	44
各種抗体検査受診者	13

※ 隔日勤務者は、人間ドックを含め年2回の健康診断を実施

(2) 公務災害・通勤災害の認定状況

区 分	認定件数	災害の概要
公務災害	1件	救急出動中の負傷
通勤災害	0件	—

(3) 福利厚生制度に係る負担

区 分	負担額
愛媛県市町村職員共済組合	121,133 千円
愛媛県市町村職員互助会	865 千円

カメラリポート



令和7年9月30日(火)

内子消防署本署は、内子町の国道沿いにおいて、交通安全週間中に交通茶屋と題して、内子交番、内子保育園の園児たちと一緒に、交通安全と火災予防を呼びかける活動を行いました。



令和7年9月30日(火)

伊予・大洲境界付近での事故発生を想定した救急事故対応訓練を、伊予消防等事務組合消防本部と合同で実施しました。事故時の対応について再認識し、更なる連携強化を図ることができました。



令和7年9月24日(水)、25日(木)

消防本部警防課は、大洲市五郎の畑の前橋河川敷で、勤務年数10年未満の職員を対象とした安全運転技能研修会を開催しました。スラローム走行や狭隘な場所での方向転換を行いました。



令和7年9月22日(月)

大洲消防署本署は、大洲市五郎の河川敷で、流水救助訓練を実施しました。要救助者を救出する一連の流れを確認しました。水辺での活動をする場合は、ライフジャケットを着用しましょう。



令和7年9月16日(火)

愛媛県消防防災航空隊との合同訓練を内子町の小田川河川敷で実施しました。林野火災を想定した給水要領、資器材の取扱い訓練等を行い、技術の向上、協力体制の構築を図ることができました。



令和7年9月7日(日)

救急医療週間の行事の一環として、大洲市のオズメッセで救急フェアを実施しました。心肺蘇生法、AEDの取扱い、119番通報体験等、たくさんの方々に体験して頂きました。



救急病院案内 (0893) 24-7000

曜日	病院名	電話番号
月・火	市立大洲病院	(0893) 24-2151
水	加戸病院 (08:30~17:30)	(0893) 44-5500
	喜多医師会病院 (17:30~08:30)	(0893) 25-0535
木	大洲記念病院 (08:30~17:30)	(0893) 25-2022
	市立八幡浜総合病院 (17:30~08:30)	(0894) 22-3211
金・土	大洲中央病院	(0893) 24-4551
日	大洲中央病院 (08:30~18:00)	(0893) 24-4551
	市立八幡浜総合病院 (17:30~08:30)	(0894) 22-3211

※ 当直病院の交替(水・木・日曜日の昼間と夜間の交替以外)は、担当曜日最後の翌朝8時30分です。
病院受診の際には、当直病院へお問合せください。

大洲喜多休日夜間急患センター

診療科目	「内科」 初期救急
診療時間	平日・土曜 午後7時~午後10時 日曜・祝日 午前9時~午後6時 日曜(夜間) 午後7時~午後10時 (詳しくは、大洲市ホームページをご覧ください。)
電話番号	(0893) 23-1156

発行編集 大洲地区広域消防事務組合
〒795-0012 大洲市大洲1034番地の4

代表 24-0119 大洲消防署本署 24-0119
総務課 24-2666 同上 長浜支署 52-0119
予防課 24-2667 同上 川上支署 34-2851
警防課 24-2668 内子消防署本署 43-0119
同上 小田出張所 0892-52-3292

ホームページ <https://ozu119.jp/>